



HDMI ツイストペアケーブル延長器

# HDC-TH100-B/HDC-RH100-B

---

取扱説明書 Ver.1.6.0

- この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。  
また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

**IDK Corporation**

## 商標について

- HDMI、HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。  
なお、本文中において、®マークや™マークを省略している場合があります。

## この取扱説明書をお読みいただく前に

- この取扱説明書の無断転載を禁じます。
- お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、この取扱説明書に記載される外観図や内容などが、一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書は改善のため、事前の予告なく変更することがあります。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードすることができます。  
<http://www.idk.co.jp/>

### 同梱物の確認

以下の同梱物がすべてそろっているかご確認ください。

万一、同梱物に不備がありましたら、お手数ですが弊社の本社営業部または各営業所までご連絡ください。

#### ■送信器 (HDC-TH100-B)

- |                            |      |
|----------------------------|------|
| ・ HDC-TH100-B 本体           | 1 台  |
| ・ ネジ式ロック付き AC アダプタ (1.2 m) | 1 個  |
| ・ コードクランプ                  | 1 個  |
| ・ 取扱説明書(本書)                | 1 冊* |

#### ■受信器 (HDC-RH100-B)

- |                            |      |
|----------------------------|------|
| ・ HDC-RH100-B 本体           | 1 台  |
| ・ ネジ式ロック付き AC アダプタ (1.2 m) | 1 個  |
| ・ コードクランプ                  | 1 個  |
| ・ 取扱説明書(本書)                | 1 冊* |

※送信器と受信器をセットでお求めの場合、取扱説明書は 1 冊のみとなります。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

# 安全上のご注意

本製品をご使用前に必ずお読みください。

この取扱説明書には、お客様や他の人への危害や損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）を良く理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

## 「警告」、「注意」、「記号」の意味

表示	表示の意味
 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号	図記号の意味	記号例
 注意	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容が描かれています。	 感電注意
 禁止	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容が描かれています。	 分解禁止
 指示	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容が描かれています。	 プラグを抜く


**警告**

 <b>禁止</b>	<b>不安定な場所に置かない</b> 水平で安定したところに設置してください。本体が落下・転倒してけがの原因になります。
	<b>振動のある場所に置かない</b> 振動で本体が移動・転倒し、けがの原因になります。
	<b>異物をいれない</b> 通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因になります。
	<b>電源コード・電源プラグは</b> ・傷つけたり、延長するなど加工したり、過熱したりしない ・引っ張ったり、重いものを乗せたり、はさんだりしない ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。電源コード・電源プラグが傷んだら、弊社営業部までお問い合わせください。
 <b>分解禁止</b>	<b>修理・改造・分解はしない</b> 内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因になります。内部の点検・調整および修理は、弊社営業部までお問い合わせください。
 <b>接触禁止</b>	<b>雷が鳴り出したら電源コードや LAN ケーブル、本体などには触れない</b> 感電の原因になります。
 <b>指示</b>	<b>据付工事について</b> 技術・技能を有する専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け・取り付けは、必ず工事専門業者または弊社営業部までお問い合わせください。火災・感電・けが・器物破損の原因になります。
	<b>電源プラグは、コンセントから抜きやすいように設置する</b> 万一の異常や故障のときや長時間使用しないときなどに役立ちます。
	<b>電源プラグは指定電源電圧のコンセントに根元まで確実に差し込む</b> 差し込み方が悪いと、発熱によって火災・感電の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。
	<b>電源プラグの埃などは定期的にとる</b> 電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因になります。
 <b>プラグを抜く</b>	<b>煙が出ている、異音、異臭がするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</b> そのまま使用をすると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認し、弊社営業部までお問い合わせください。
	<b>落としたり、キャビネットが破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</b> そのまま使用すると、火災・感電・けがの原因となります。点検・修理については、弊社営業部までお問い合わせください。
	<b>内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</b> そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。点検・修理については、弊社営業部までお問い合わせください。

**機器の接続について**

 <b>指示</b>	本体と周辺機器との接地電位差により感電、もしくは機器の破損が発生する場合があります。機器間をケーブルで接続する際は、長距離伝送接続なども含めて、関係するすべての機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。 各機器の信号・制御ケーブルを接続し、終了した後に各機器の電源プラグをコンセントに接続してください。
--	---



## 注意

 <b>禁止</b>	<b>温度の高い場所に置かない</b> 直射日光が当たる場所や温度の高い場所に置くと火災の原因になります。
	<b>湿気・油煙・埃の多い場所に置かない</b> 加湿器のそばや埃の多い場所などに置くと、火災・感電の原因になります。
	<b>通風孔をふさがない</b> 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。
	<b>機器の上に重いものを置かない</b> 倒れたり落ちたりしてけがの原因になります。
	<b>コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない</b> タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因になります。
	<b>本体付属の AC アダプタまたは電源コード以外のものは使用しない</b> 不適合により、火災や感電の原因になります。本体付属の AC アダプタまたは電源コードは 100 V 系国内専用です。海外など 200 V 系でご使用になる場合は、弊社営業部までお問い合わせください。
 <b>ぬれ手禁止</b>	<b>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</b> 感電の原因になります。
 <b>指示</b>	<b>温度と湿度の使用・保存範囲を守る</b> 範囲を超えて使用を続けた場合、火災や感電の原因になります。
	<b>他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切る</b> 火災や感電の原因になります。
 <b>プラグを抜く</b>	<b>長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く</b> 万一故障したとき、火災の原因になります。
	<b>お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く</b> 感電の原因になります。

### 設置についてのお願い

#### ● ラックマウント製品の場合

 <b>指示</b>	EIA 相当のラックにマウントしてください。その際には上下に空冷のための隙間を空けるよう考慮してください。また、安全性を高めるため前面のマウント金具と併用して L 型のサポートアングルなどを取り付けて、機器全体の質量を平均的に支えるようにしてください。
--	--

#### ● ゴム足つきの製品の場合

 <b>指示</b>	ゴム足を取り外した後にネジだけをネジ穴に挿入することは絶対にお止めください。内部の電気回路や部品に接触し、故障の原因になります。再度ゴム足を取り付ける場合は、付属のゴム足とネジ以外は使用しないでください。
--	--

#### ● 海拔について

 <b>指示</b>	海拔 2,000 m 以上の場所に設置しないでください。  部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。
--	---

## 目次

1	概要	8
2	特長	8
3	各部の名称と働き	9
3.1	送信器 (HDC-TH100-B)	9
3.2	受信器 (HDC-RH100-B)	10
4	接続方法	11
4.1	接続するソース機器、シンク機器の注意点	11
4.2	カスケード接続について	13
4.3	長距離伝送用ツイストペアケーブルについて	13
4.4	HDMI 入出力ケーブル	13
4.5	LAN 伝送	14
4.6	RS-232C 伝送	14
4.7	その他の注意事項	15
4.8	参考 (コードクランプの取付け方法)	17
5	仕様	18
5.1	HDMI Type A コネクタのピン配列	18
5.2	RJ-45 コネクタのピン配列	18
5.3	RS-232C コネクタのピン配列	19
5.4	製品仕様	20
6	正常に動作しないときは	21

## 1 概要

HDC-TH100-B/HDC-RH100-B は、ツイストペアケーブルを使用して長距離伝送を行う HDMI 延長器です。映像信号はアナログに変換せず、デジタル信号のまま伝送します。  
RS-232C のシリアル双方向通信および LAN にも対応しています。

## 2 特長

### ■映像

- Cat6 ケーブルで HDMI 信号を最大 100 m 延長可能
- Cat5e ケーブルでの伝送も可能
- 4K フォーマット対応 (Cat6 ケーブルで最大 70 m 延長可能)
- 実質的な伝送遅延なし (10  $\mu$  s 以内/100 m)

### ■その他

- HDCP 対応 (パススルー)
- CEC 対応 (パススルー)
- HDMI 信号をツイストペアケーブルで延長可能
- 本体 AC アダプタ接続部はロック機構搭載

#### ◆CEC とは

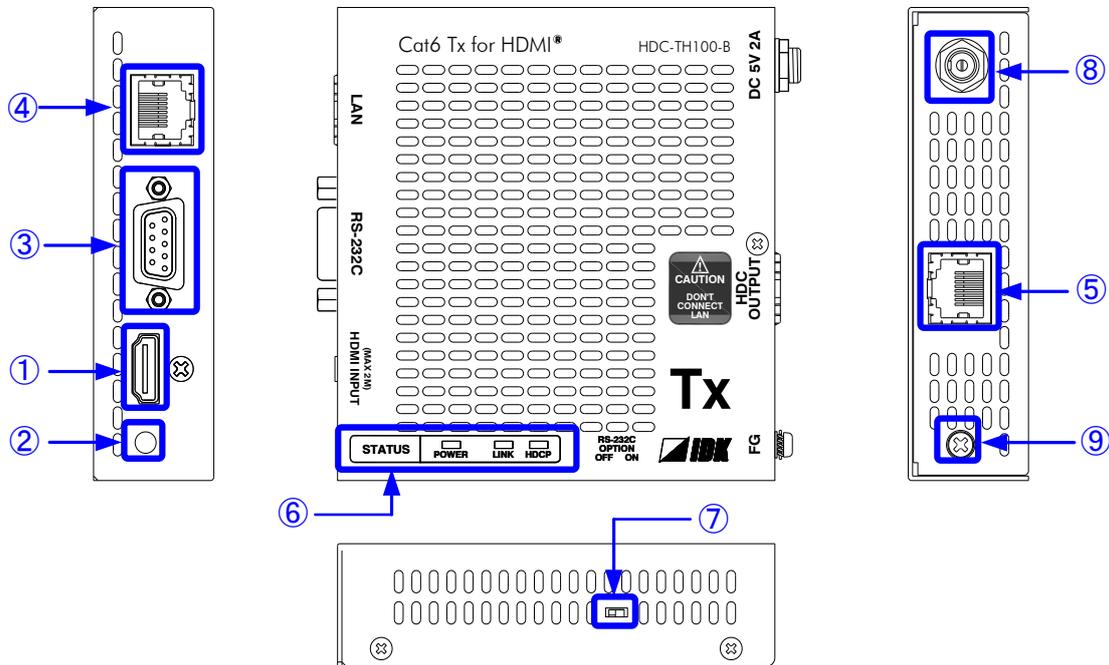
CEC (Consumer Electronics Control)

HDMI で規格化されている機器制御信号プロトコルのこと。

具体的には、HDMI 搭載の BD、DVD および STB を操作し、ケーブル接続された HDMI 搭載テレビの電源の入/切や、音量を上下、および双方向のリモート操作を行う機能のこと。

### 3 各部の名称と働き

#### 3.1 送信器(HDC-TH100-B)

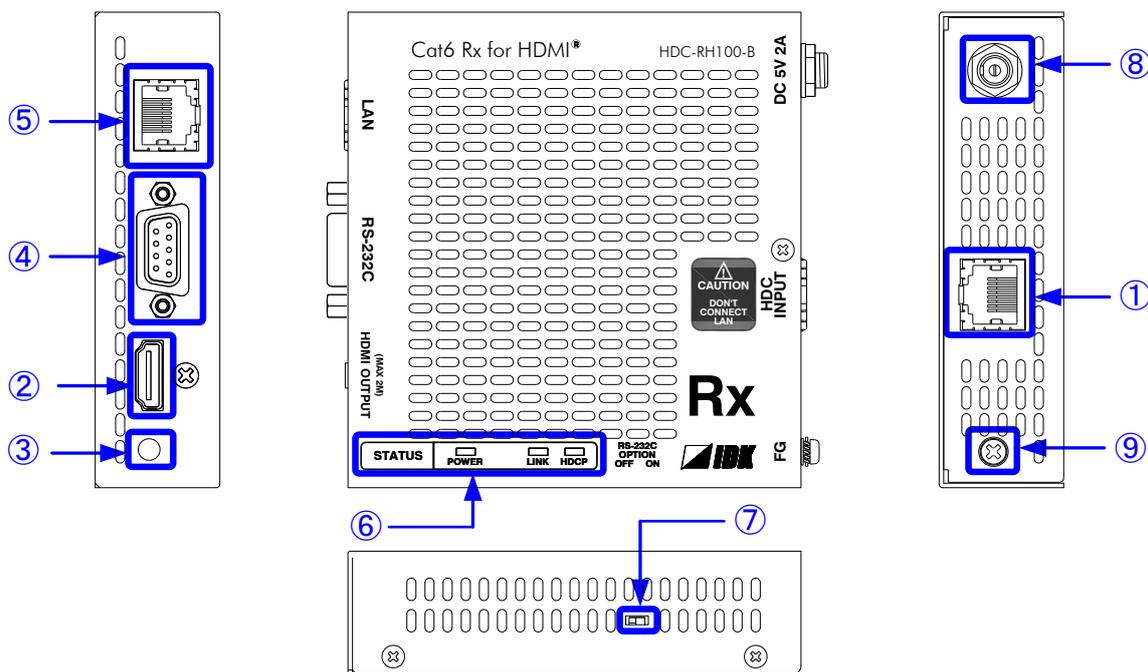


[図 3.1] 外観図(HDC-TH100-B)

[表 3.1] 各部の名称(HDC-TH100-B)

番号	名称	説明
①	HDMI 入力コネクタ	HDMI 信号の入力端子です。ブルーレイプレーヤー等のソース機器を接続します。
②	ケーブル固定穴	付属のコードクランプを使用するときの差し込み穴です。
③	D-sub9 ピンコネクタ	RS-232C 信号の端子です。
④	RJ-45 コネクタ	LAN 信号の端子です。
⑤	延長用出力コネクタ	延長用デジタル信号の出力端子です。HDC シリーズの受信器と接続します。
⑥	ステータス LED 各種	POWER: AC アダプタから電力が供給されると点灯します。 LINK: HDC シリーズの受信器との接続が確認されると点灯します。 HDCP: 点灯---HDCP へのアクセスがあります。 点滅---HDCP へのアクセスがありません。 消灯---入力信号を認識していません。
⑦	RS-232C OPTION スイッチ	受信器に HDC-RH100-B を使用する場合は、“ON” に設定してください。(初期値: OFF)
⑧	電源入力コネクタ	付属の AC アダプタを接続します。
⑨	フレームグランド	屋内のアース端子と接続します。

## 3.2 受信器(HDC-RH100-B)



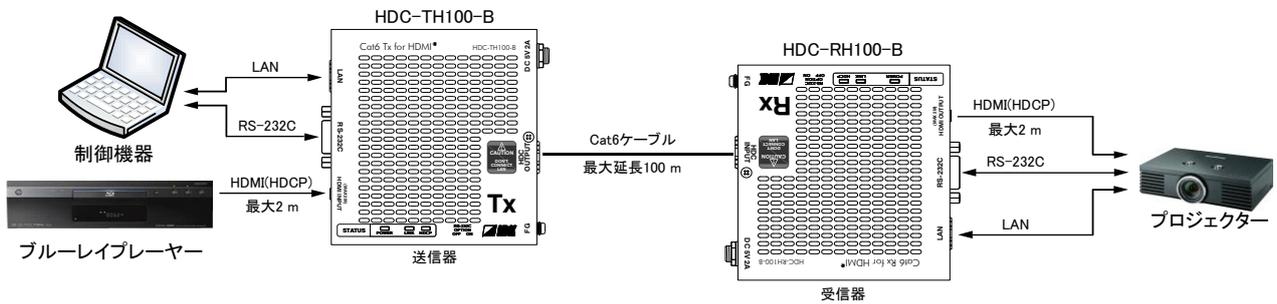
[図 3.2] 外観図(HDC-RH100-B)

[表 3.2] 各部の名称(HDC-RH100-B)

番号	名称	説明
①	延長用入力コネクタ	延長用デジタル信号の入力端子です。HDC シリーズの送信器と接続します。
②	HDMI 出力コネクタ	HDMI 信号の出力端子です。テレビ等のシンク機器を接続します。
③	ケーブル固定穴	付属のコードクランプを使用するときの差し込み穴です。
④	D-sub9 ピンコネクタ	RS-232C 信号の端子です。
⑤	RJ-45 コネクタ	LAN 信号の端子です。
⑥	ステータス LED 各種	POWER: AC アダプタから電力が供給されると点灯します。 LINK: HDC シリーズの送信器との接続が確認されると点灯します。 HDCP: 点灯---HDCP へのアクセスがあります。 点滅---HDCP へのアクセスがありません。 消灯---入力信号を認識していません。
⑦	RS-232C OPTION スイッチ	送信器に HDC-TH100-B を使用する場合は、“ON”に設定してください。 (初期値:OFF)
⑧	電源入力コネクタ	付属の AC アダプタを接続します。
⑨	フレームグラウンド	屋内のアース端子と接続します。

## 4 接続方法

下図は、HDC-TH100-B と HDC-RH100-B を使ったシステム構成図です。



[図 4.1] システム構成図

### 4.1 接続するソース機器、シンク機器の注意点

HDC-TH100-B と HDC-RH100-B (以下、“本機”とする)は、HDCP によりコンテンツ保護されている DVI 信号 (以下、“HDCP 付き DVI 信号”とする)の長距離伝送には対応していません。  
この HDCP 付き DVI 信号を伝送する場合は、DVI 信号に対応した弊社ツイストペアケーブル延長器をお使いください。

[表 4.1] HDCP対応表

	HDCP 付き※	HDCP なし
HDMI 信号	○	○
DVI 信号	×	○

[記号] ○:対応 ×:非対応

※ソース機器・シンク機器の組み合わせによる



[図 4.2] HDCP付きDVI信号構成例

一般的に、ソース機器とシンク機器の両方が HDMI コネクタの場合は HDMI 信号を出力し、ソース機器とシンク機器のいずれか一方または両方が DVI コネクタの場合は DVI 信号を出力します。ただし、ソース機器とシンク機器の両方が HDMI コネクタの場合でも DVI 信号で出力されることがあります。従って、コネクタ形状だけでは出力される信号を判別できないことがありますのでご注意ください。

下図は、HDMI コネクタ付きプロジェクターを接続したときに、DVI 信号が出力される例です。この場合、ソース機器によってはプロジェクターの EDID の音声非対応の情報を得て、DVI 信号で出力するものがあります。



[図 4.3] HDMI コネクタ同士の機器で DVI 信号が出力される例

本機を使用して正常に映像が出力できない場合は、「HDCP 付き DVI 信号」の条件に該当している可能性があります。お手数ですが弊社営業部までご連絡ください。

## 4.2 カスケード接続について

本機は、HDCP をリピートする分配器やマルチスイッチャなどを含んだカスケード接続、および DVI 信号に対応した弊社ツイストペアケーブル延長器とのカスケード接続が可能です。

ただし、以下の場合はカスケード接続ができません。

- ・ 本機同士 (HDMI 信号に対応した弊社ツイストペアケーブル延長器)
- ・ HDCP をパススルーするリピータ機器を含んだ場合 (例) 切換器、ケーブル補償器

## 4.3 長距離伝送用ツイストペアケーブルについて

長距離伝送用のツイストペアケーブルは、正しい選定と設置をすることにより、本機の性能を最大限に生かすことができます。

- ・ 送信器と受信器間のツイストペアケーブルは、Cat6 規格の UTP/STP ケーブルを推奨します。STP ケーブルを使用するときは、FG 端子を屋内のアース端子と接続してください。接続しない場合、シールド性能が正しく機能しません。また、UTP ケーブルを使用するときも、屋内のアース端子と接続することをお勧めします。
- ・ 50 m 以内の伝送を行う場合は、Cat5e 規格の UTP/STP ケーブルもお使いいただけます。
- ・ シールドされている STP ケーブルは、UTP ケーブルよりも干渉や外部ノイズの影響を受けにくい傾向があります。
- ・ Cat5e/Cat6 規格の UTP/STP ケーブルの最大延長距離は、接続する送信器、受信器またはシンク機器の最大延長距離の短い方の距離となります。
- ・ コネクタのピン配列は T568A もしくは T568B のストレート結線にしてください。
- ・ 接続ケーブルを強く引っ張らないでください。ツイストペアケーブルの許容張力は 110N と規定されています。
- ・ 接続ケーブルはゆるやかに曲げてください。接続ケーブルの曲げ半径は、ケーブル外径の 4 倍以上としてください。
- ・ ツイストペアケーブルは、なるべくまっすぐに配線してください。とぐろを巻いた状態にすると、ノイズの影響を受けやすくなります。
- ・ ケーブルを固定する場合の結束は、結束バンド内でケーブルが緩く動く程度とし、強く締め付けないようにしてください。
- ・ 同一ケーブルを並列に敷設する場合は、ケーブル間の距離を離すか、ケーブル同士が平行に配されないようにケーブルを蛇行させて敷設することをお勧めします。
- ・ 高速な信号を伝送しているため、ノイズの多い環境への設置はしないでください。  
特に、高出力な無線機などを本機の近くで使用すると、映像や音声が乱れることがあります。
- ・ 送信器から受信器までの距離が 100m 以内であれば、RJ-45 用中継コネクタや壁コンセントパネルを使用し、ケーブルジョイントが可能です。ケーブルジョイントは 2 か所まで許容し、Cat6A (10GBase-T) 対応品を推奨します。

伝送路に問題がある場合、映像や音声が乱れることがありますので上記項目を確認してください。  
症状が改善されない場合、ツイストペアケーブルを短くすることは有効です。

## 4.4 HDMI 入出力ケーブル

HDMI 入出力ケーブルは、正しくピン配置がされ、Type A (オス) コネクタが付いた 2m 以内のケーブルを使用してください。

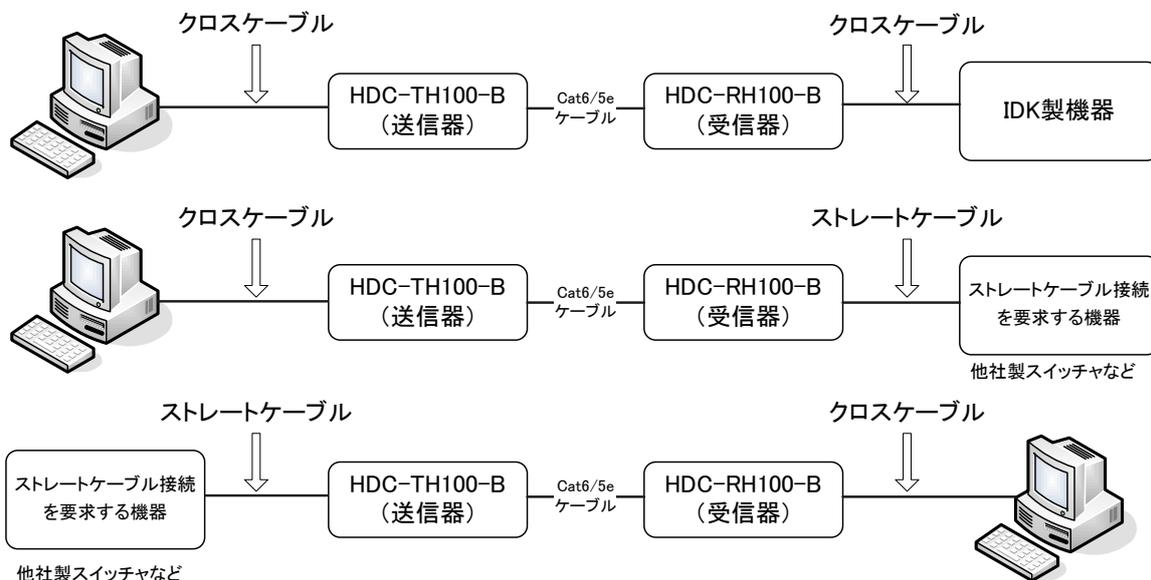
## 4.5 LAN 伝送

100 Mbps の Ethernet 信号を長距離伝送することができます。  
LAN ケーブルは 10Base-T/100Base-TX 規格に適合したケーブルをお使いください。

## 4.6 RS-232C 伝送

最大 115.2Kbps の RS-232C 信号を、全二重で長距離伝送することができます。  
本機の送信器と受信器は、独自のプロトコルにて通信を行いますので、通信ケーブルは「送信器」・「受信器」それぞれ個別に接続する機器の仕様に合わせて選択してください。

- ・ 他の IDK 製品との接続はクロスケーブルです。
- ・ パソコンとの接続はクロスケーブルです。
- ・ その他、接続先の機器に合わせて、クロスケーブルまたはストレートケーブルの選択をしてください。



【図 4.4】RS-232C ケーブル接続例

### ■RS-232C OPTION スイッチの設定

HDC-TH100-B(送信器)と HDC-RH100-B(受信器)の組合せで使用し、RS-232C 信号を伝送する場合は、RS-232C OPTION スイッチを“ON”に設定してお使いください。

“ON”に設定せずに使用し、周辺機器の電源が入った状態で本機の電源を ON または OFF にした場合、D-sub9 ピンコネクタへ数バイトの無効なコマンドが出力されます。これにより、コマンドを受信する周辺機器の受信バッファに無効なコマンドがたまり、その後送られてくる最初のコマンドを認識することができなくなる可能性があります。

## 4.7 その他の注意事項

### ■本機の設置について

#### <接続端子の静電気破壊に対する注意事項>

下記の点に注意して、信号ケーブルを接続してください。行わない場合、故障の要因になります。

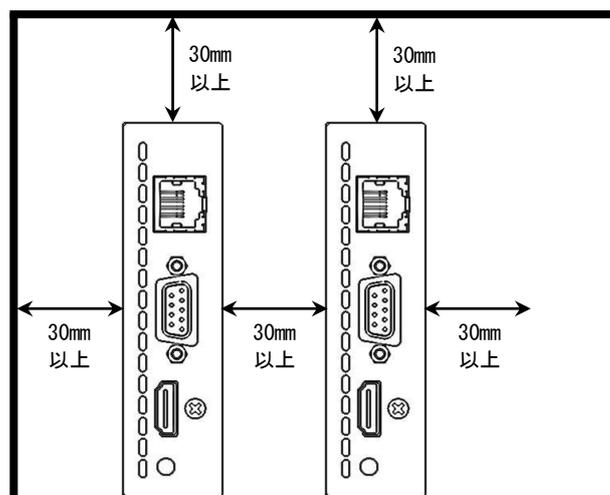
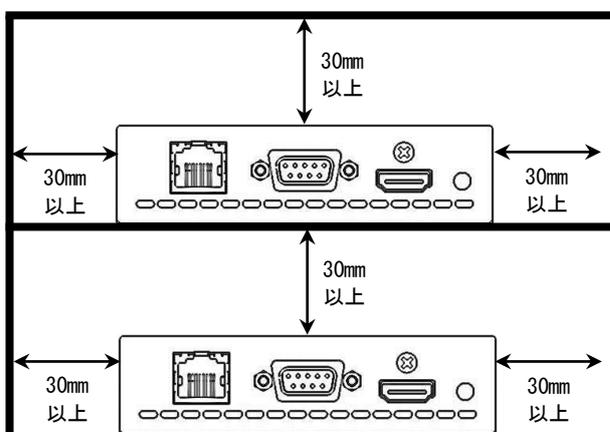
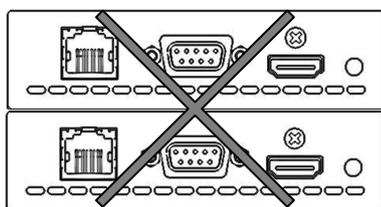
- ・ ケーブルを本機、あるいは本機と接続する外部機器に接続する時は、ケーブルを持つ前に周辺の金属に触れて身体の帯電を除去した状態で作業をしてください。

#### <設置上の注意事項>

- ・ 本機を積み重ねて使用しないでください。
- ・ 本機の通風孔をふさがらないでください。
- ・ 本機を囲われた空間に設置しないでください。

囲われた空間に設置が必要な場合は、本機の周辺温度が 40℃以下になるよう別途換気設備を入れてください。換気が不十分な場合、部品の寿命などに影響を及ぼすおそれがあります。

ただし、EIA ラックマウントへ設置の場合、弊社製クォーターラック(型番:RM-42HQ)に取り付けるときは、下記寸法の限りではありません。



※本機の周辺温度が 40℃以下になるようにしてください。

#### <STP ケーブルを使用する際の注意事項>

- ・ フレームグラウンドは、屋内のアース端子と接続してください。接続しない場合、シールド性能が正しく機能しません。また、UTP ケーブルを使用する際も、屋内のアース端子と接続することをお勧めします。

**■使用上の注意事項**

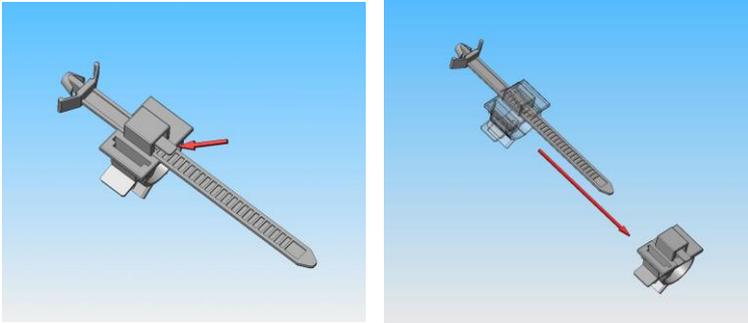
- ・ 著しく状態の悪い機器に接続しますと映像が乱れることがあります。
- ・ 本機に電源を供給したままツイストペアケーブルの挿抜を行うと映像が出力されないことがあります。送信器の電源を入れ直すことにより、正常に動作します。
- ・ 一部の液晶モニターでは動作が不安定になりますので、事前に動作確認をされるか、弊社までお問い合わせください。
- ・ 本機の延長距離は Cat6 ケーブル使用で最大 100m となっており、最大延長距離を上回った接続を行った場合、映像や通信が途切れることがあります。また、Cat6 UTP ケーブルの最大延長距離は、本機と接続する送信器、受信器またはシンク機器の最大延長距離の短い方の距離となります。
- ・ RJ-45 コネクタは、HDMI 信号などを長距離延長するための専用信号用のコネクタです。このコネクタは、イーサネットなどで使用される、8 芯のモジュラー式コネクタと同じですが、伝送方式が異なりますのでイーサネットに接続することはできません。
- ・ 付属の AC アダプタ入力電圧は AC100 V～240V です。電源投入前に、電源電圧の確認をしてください。

- ・ すべての接続が完了してからACアダプタで電源を供給してください。
- ・ 本機に接続されたモニターに、正しく映像が表示されないときや、表示画面が乱れるときなどは、「正常に動作しないときは」(P.21)をご参照ください。

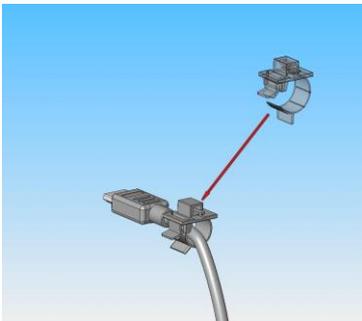
#### 4.8 参考(コードクランプの取付け方法)

HDMI ケーブルにはロック機構がありません。そのため以下の手順に従い、付属のコードクランプを使って本機に HDMI ケーブルを固定してください。

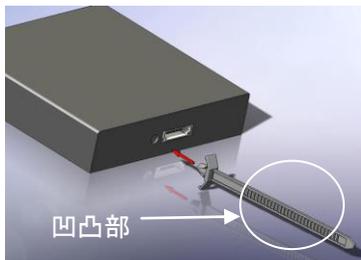
手順 1:コードクランプの矢印部分を持ち上げてバーとリング部分を外します。



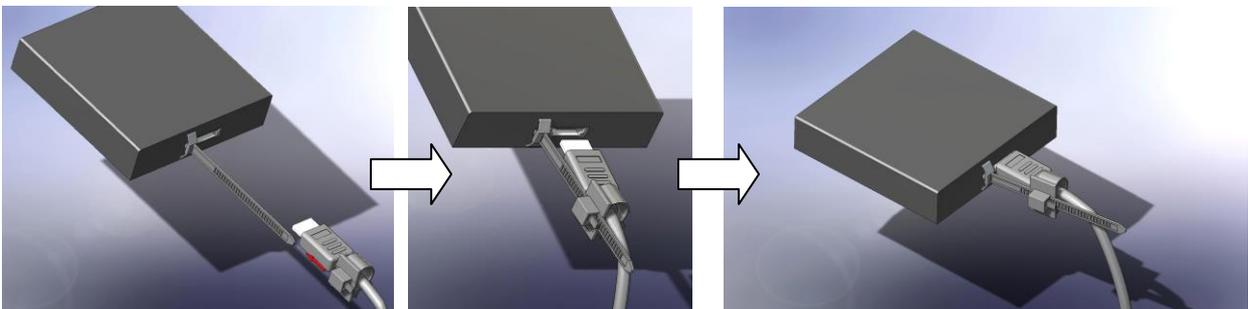
手順 2:外したリングを HDMI ケーブルにくぐらせます。



手順 3:凹凸が横を向くようにバーを本体側の穴に差し込みます。



手順 4:HDMI ケーブルに取付けたリングにバーを差し込み完成です。



※ケーブルを外す時は、手順 1 の要領でリングと HDMI ケーブルを外します。

## 5 仕様

### 5.1 HDMI Type A コネクタのピン配列

[表 5.1] HDMI TypeA コネクタのピン配列

1	TMDS Data2+	2	TMDS Data2 Shield	3	TMDS Data2-
4	TMDS Data1+	5	TMDS Data1 Shield	6	TMDS Data1-
7	TMDS Data0+	8	TMDS Data0 Shield	9	TMDS Data0-
10	TMDS Clock+	11	TMDS Clock Shield	12	TMDS Clock-
13	CEC	14	Reserved (NC)	15	SCL
16	SDA	17	DDC/CEC Ground	18	+5V Power
19	Hot Plug Detect				

※NC: No Connection

### 5.2 RJ-45 コネクタのピン配列

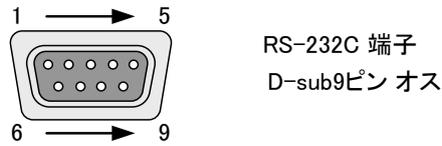
[表 5.2] TIA/EIA-568A

ピン番号	信号名
1	WHITE/GREEN,Stripe
2	GREEN
3	WHITE/ORANGE,Stripe
4	BLUE
5	WHITE/BLUE,Stripe
6	ORANGE
7	WHITE/BROWN,Stripe
8	BROWN

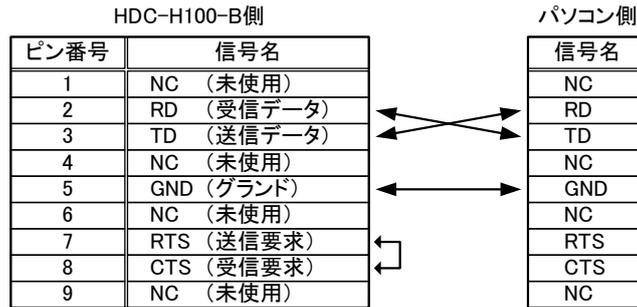
[表 5.3] TIA/EIA-568B

ピン番号	信号名
1	WHITE/ORANGE,Stripe
2	ORANGE
3	WHITE/GREEN,Stripe
4	BLUE
5	WHITE/BLUE,Stripe
6	GREEN
7	WHITE/BROWN,Stripe
8	BROWN

5.3 RS-232C コネクタのピン配列

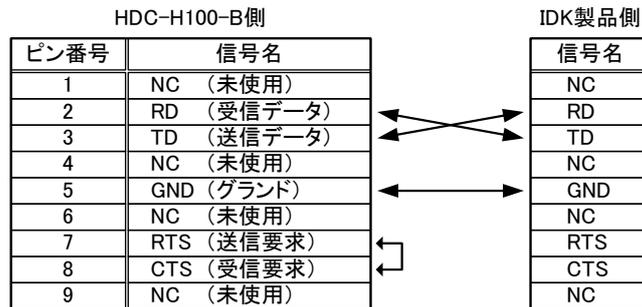


[図 5.1] RS-232C コネクタのピン配列



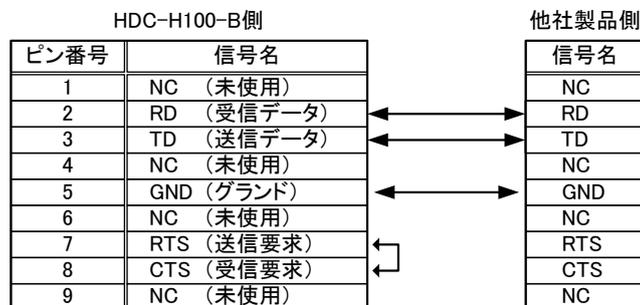
[図 5.2] パソコンと接続時のケーブルピン配列

※パソコンと接続するケーブルは、必ずクロスケーブルを使用してください。



[図 5.3] IDK 製品と接続時のケーブルピン配列

※IDK 製品と接続するケーブルは、必ずクロスケーブルを使用してください。



[図 5.4] ストレート結線を要求する機器と接続時のケーブルピン配列

※ストレート結線を要求する機器と接続するケーブルは、必ずストレートケーブルを使用してください。

## 5.4 製品仕様

※外観と仕様は予告なく変更することがあります

	HDC-TH100-B(送信器)	HDC-RH100-B(受信器)
入力信号	1 系統 HDMI 信号 (注 1) HDCP 対応(パススルー) (注 2) CEC 対応(パススルー) コネクタ: HDMI TypeA (19 ピン)・メス(注 3)	1 系統 延長用デジタル信号 コネクタ: RJ-45
出力信号	1 系統 延長用デジタル信号 コネクタ: RJ-45	1 系統 HDMI 信号 (注 1) HDCP 対応(パススルー) (注 2) CEC 対応(パススルー) コネクタ: HDMI TypeA (19 ピン)・メス(注 3)
対応フォーマット	SDTV/HDTV: 480i/480p/576i/576p/720p/1080i/1080p/4K@30 VESA: VGA~4K@30 (注 4)	
色深度	24 bit、30 bit、36 bit Deep Color	
ドットクロック	25 MHz~340 MHz	
TMD5 クロック	25 MHz~340 MHz	
デジタル音声入出力	マルチチャンネルリニア PCM 最大 8 チャンネル	
延長用ケーブル		
適合ケーブル	Cat6 UTP/STP ケーブル、Cat5e UTP/STP ケーブル (注 5)	
最大延長距離	100m (Cat6 UTP ケーブル使用時) (注 6) (4K フォーマット、Cat6 ケーブル使用時は 70 m)	
コントロール通信		
RS-232C	1 系統 D-sub9 ピンコネクタ・オス 全二重 最大 115.2 kbps	
LAN	1 系統 RJ-45 コネクタ 10Base-T/100Base-TX(Auto Negotiation) Auto MDI/MDI-X	
その他仕様		
ACアダプタ	入力: AC ~ 100 V - 240 V ± 10 % 50 Hz/60 Hz ± 3 Hz 出力: DC 5 V 2 A (専用 AC アダプタ付属)	
消費電力	約 4 W	約 7 W
外形寸法	106(W)x27.5(H)x100(D) mm (クォーターラックサイズ、突起物含まず)	
質量	0.3 kg	
温度	使用範囲: 0 °C~+40 °C 保存範囲: -20 °C~+80 °C	
湿度	使用範囲: 20%~90% (ただし結露なきこと) 保存範囲: 20%~90% (ただし結露なきこと)	
付属品	ネジ式ロック付き AC アダプタ(1.2 m)、コードクランプ	
オプション	固定用プレート(型番: FP-100)	

(注 1) HEC,ARC には対応していません。

(注 2) HDCP により著作権保護された DVI 信号には対応していません。

HDCP により著作権保護された DVI 信号を伝送する場合は、DVI 信号に対応した弊社ツイストペアケーブル延長器をお使いください。

(注 3) 2 m 以下の HDMI ケーブルを使用してください。

(注 4) 最大 30 Hz までの 4K フォーマットに対応しています。

(注 5) T568A もしくは T568B のストレート結線です。50m を超える場合は Cat6 ケーブルを推奨します。

(注 6) Cat6 UTP ケーブルの最大延長距離は、本機と接続する送信器、受信器またはシンク機器の最大延長距離の短い方の距離となります。

※ 付属の AC アダプタは本機専用品です。他の機器にはご使用にならないでください。

## 6 正常に動作しないときは

本機が正常に動作しないときは、以下の点をご確認の上、弊社の本社営業部または各営業所までご連絡ください。

- ・本機および接続されている機器の電源は投入されていますか？
- ・ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ケーブルの接触不良はありませんか？
- ・機器に適合した正しいケーブルを使用していますか？
- ・接続している機器同士の信号規格は適合していますか？
- ・表示装置(モニタなど)は正しく設定されていますか？
- ・機器の近くにノイズの原因となるようなものはありませんか？

故障の連絡をする際には以下の点を事前にテストしてください。

1. 本機の電源を再起動しても同じ現象がでますか？  
-はい- -いいえ-
  
2. 本機を全く介さずに、純正のケーブルで接続したときは正常に動作しますか？  
-はい- -いいえ-

HDC-TH100-B/HDC-RH100-B 取扱説明書

Ver. 1.6.0

発行日 2014年08月08日



株式会社 アイ・ディ・ケイ

**本 社** 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1  
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765

**関西営業所** 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-5 大同生命江坂第2ビル5階  
TEL (06) 6192-0764 FAX (06) 6192-0906

**九州営業所** 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 4-9-2 八百治センタービル3階  
TEL (092) 431-0764 FAX (092) 431-0906

**Eメールアドレス** [info@idk.co.jp](mailto:info@idk.co.jp) **ホームページ** <http://www.idk.co.jp/>